

知事コメント

令和2年12月24日(木)

本日、伊平屋村において大規模な集団感染が確認されましたので、ご報告いたします。

伊平屋村では、12月12日に1例目の陽性者が確認され、先週1週間に8人(※1例目含む)、今週に入って7人、そして本日新たに15人、合計30人の陽性者が確認されています。現在までに県で確認した情報によりますと、仕事で伊平屋島に訪れた方が飲食店に立ち寄り、その後、その飲食店で開催されたイベントにおいて3密となる状況があったことが、今回の集団感染に繋がったものと考えられます。

伊平屋村には入院治療が可能な医療機関はありませんが、診療所と伊平屋村、北部保健所が連携するとともに、県立北部病院から医師を、病院事業局からは看護師を派遣して濃厚接触者の調査や、感染が疑われる方々への検査を実施しております。

また、関係機関等とも連携し、伊平屋村の陽性者は全て沖縄本島内に搬送し、県内医療機関又は宿泊療養施設で療養しているところです。いずれも軽症者又は無症状者で、重症者は確認されておりませんが、さらなる感染拡大に繋がらないよう、引き続き注意が必要な状況にあると思っております。

沖縄県内には、伊平屋村と同様に、医療体制が脆弱な小規模離島が数多くあります。さらに、高齢者の割合が高く住民同士の交流が密であることが多いため、ひとたびウイルスが侵入すると一気に拡がる可能性があります。

このことから、離島における感染対策には特に注意を払う必要があり、離島への往来については、慎重に判断する必要があります。

県としましては、離島への感染拡大を防ぐため、那覇空港をはじめ各離島空港や港湾においてサーモグラフィ等設置による発熱監視を行っているところですが、さらに、緊急メッセージを各空港や港湾に掲示することといたしました。

また、離島において陽性者が発生した場合に備え、治療や療養に繋がられるよう、管轄保健所、市町村、消防機関、海上保安庁、自衛隊等と連携して搬送体制を整えております。

年末年始に帰省や旅行で離島を訪れる予定の方もいらっしゃると思いますが、来島自粛を求めている離島への往来は、引き続き、自粛していただきますよう、お願いします。また、その他の離島についても、本島と離島間、離島と離島間の往来については、必要最小限とするよう、お願いします。体調不良の場合は、渡航中止または延期をご検討ください。是非、皆さまのご理解とご協力をお願いします。